

令和7年度 第3回 FMはまなす番組審議会 議 事 録

1. 開催年月日 令和7年9月30日（火）
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室A
3. 出席者 審議委員総数 7名
出席委員数 4名

出席委員の氏名 ・岡 嘉彦
・仁志 正樹
・畑 孝子
・後藤 さゆり

局側出席者 ・阿部 啓吉（代表取締役）
・松井 宙夢（事務局）
4. 議 題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要（放送日9／6～9／15）
 - （1）局制作番組について
「オジョーの子育てサロンレディオ！」
 - （2）市民制作番組について
「BEET POPS CLUB」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「オジョーの子育てサロンレディオ！」

よしもと所属の芸人オジョーが、子育てしやすいまちづくりをしたい思いから、ラジオを通して子供の悩みに寄り添い、不安を抱えるお母さまへの情報発信を行う番組。

① 事前意見回答報告

岡委員長

9月6日（土）、9月13日（土）の放送について

「2回とも後半の部分しか聴くことが出来ませんでした。子供の進路の話についての場面でしたが、優しく話していたのが印象的でした。前半部分は分かりませんが、子育ての番組は視聴される方も多いのではないかと思います。」

仁志委員

9月6日（土）の放送について

「吉本の養成学校を経験して、仕事がしながらイベントの多い季節に子育てとお仕事に取り組む姿は、凄いバイタリティーと毎回感じています。頭の回転の速いオジョーさんの会話は、多岐に渡り興味深い話題と賑やかな雰囲気、エンドレスな体力に逞しさを感じて聴いています。切実な話題など、メリハリが素晴らしいと感じました。」

後藤委員

9月13日（土）の放送について

「北村のお祭りの話題。岩見沢にペプシ、コカコーラの工場があったというお話は知らなかったので興味深く聞かせていただきました。BGMの音が大きく感じ、会話に集中できない箇所もありました。」

② 審議

岡委員長

「審議を始めます。子育ての番組ですよ。オジョーは吉本の方ですから弁が立つというか、話が上手だなと思って聞いていました。」

事務局松井

「ご自身のお子さんの話ですとか、体験とか、たまにゲストを呼んだりする時もあります。」

岡委員長

「リスナーは関心があるのではないのでしょうか？」

事務局松井

「私はアシスタントに入っていますが、今の教育に関して興味深い話だと思います。」

仁志委員

「パワフルにお話をされるので、少しひいてしまう部分もありますが、勉強をされているし色々な情報をお持ちなので、このような視点で自分の意見を言うのは大切な事だと思います。」

後藤委員

「BGMの方が耳に入ってきた感じがありました。」

岡委員長

「子育て家庭の話はその層の方を引き付けるのではないのでしょうか。」

仁志委員

「他の人とは違った視点から、そぐわない制度やオジョーが感じる事を話して貰えるのは良いのではないのでしょうか。」

畑委員

「声を通る方なので、声の大きさとかは調節はされている
のですか？」

事務局松井

「本人も気を付けてくれています。」

岡委員長

「では次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「BEET POPS CLUB」

誰もが1度は耳にした事のある洋楽を中心に、DJが1960年代のアーティストの音楽や、1950, 60年代のアメリカのリズム&ブルースを紹介する番組。

① 事前意見回答報告

仁志委員

9月13日（土）の放送について

「今回の2025 9/13 放送の「BEET POPS CLUB」を聴きました。楽しそうに1960年代のロック、ポプス、フークソングの止まらない語りは、話す声を聴くだけでも嬉しくなります。矢沢永吉と内田裕也、ミツキーカーチスとの関わり、比較の中で「貧乏臭い四畳半フォークソング」との表現にある意味関心して聞きました。突然の1972年デビューの矢沢の日本語と繋ぎの英語。巻き舌の発音。新しい文化の香りが根ざすとはあまり思わない中で定着してきた音楽に、少しシットリと聴かせる語りや思わず懐かしい「君はファンキーモンキーベイビー」は、即タイムトンネルに入る事ができました。新しい音楽でも距離が突然近づいた気がし、そんなことが思える気がするのは何でだろうと聴きました。この番組は毎回楽しい時間でもあります、又、ドブプリ浸りたいと思いました。」

畑委員

9月15日(月)の放送について

「1970年代フォークソングブームの時代の中、当時流行っていたメッセージ性のある曲ではなく、ビートに乗る調子で歌う曲作りでキャロルが活躍。3年弱の活動だったが、ロック界に大きな足跡を残したというキャロル。ソロ活動50周年を迎えた矢沢永吉。そのせいか最近 TV 番組で見る機会があり、同世代の永ちゃん！まだまだその歌声を届けて欲しいなと思いました。キャロル、ダウNTOWNブギウギバンドがライバルだったとか、ミッキーカーチスや内田裕也との係りとか、エピソードもなかなか興味深く聞けることが出来、ボリュームミーな内容の濃い番組でした。」

加藤委員

9月15日(月)の放送について

「岩見沢市内移動中の車の中で拝聴させていただきました。セットリストにつきましては、その年代の方には懐かしく楽しく聴ける番組だと感じました。作業音楽としても聴き流せる音楽番組としては良いのではないのでしょうか。その一方で、曲間の説明等が少なく曲を知らない人に興味を持たせる解説にはなっていないと感じました。また、曲紹介時の「え〜・・・、え〜・・・」が多く聴かれ、とても聞きづらい面もありました。台本やメモ等があるのであれば、しっかりと活用し下読みが必要だと思いました。」

後藤委員

9月15日(月)の放送について

「キャロルの特集。バンドの歴史やメンバーのお話などキャロルファンならではのエピソードの紹介でした。たくさんの曲が紹介され、ファンにはたまらないのではないかと思います。」

② 審議

岡委員長

「好きな方には良い番組だと思います。」

畑委員

「凄く詳しく説明してくれて良かった。」

事務局松井

「特集を組めるだけの引き出しのある方です。」

畑委員

「一人で放送しているのですか？」

事務局松井

「2．3人で放送したりもします。」

畑委員

「番組の流れは良かったですよね。この番組をこれからも聴いてみたいと思いました。」

岡委員長

「改めてラジオを、ひいてはコミュニティーFMを聴いてくれる方が増えるようになると良いと思います。」

畑委員

「耳を傾けるような、語りかけるような番組があれば良いと思います。土曜日の番組ですが高校生のコーナーがあるのですね。若い人の声が聴けるのは良いと思います。」

岡委員長

「ラジオは声しか聞こえてこないなので、声のトーンや語り方で聞いてしまいます。そのように発信できると良いと思います。他に意見が無ければ終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「ハッピーエンディングを迎えるために」

参考になる番組で、引き続き良い番組作りを指導した。

(2) 市民制作番組

「Classic Rock Radio」

引き続き良い番組作りを制作するようお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公 表 方 法

自社放送、ホームページ、局内設置議事録

公 表 内 容

委員の主な意見

公表年月日

令和7年10月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。